2022 年 4 月 2 日（大学入学式告辞）

ぶどうの木

ヨハネ福音書 15 章 5 節、Hymn493

院長　阿久戸光晴

「私はぶどうの木、あなた方はその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れては、あなた方は何もできないからである。」（新約聖書・ヨハネ福音書 15 章 5 節）

新入生の皆様、ご親族の皆様、ご入学おめでとうございます。心よりお慶び申し上げ、福岡女学院ファミリーへの歓迎を申し上げます。

ご承知のとおり、本学はミッション・スクールであります。聖書を開いてイエス・キリストのみ言葉に聴き、讃美歌を歌い、その教えに従い、礼拝の時間を重んじる大学です。さらに、本学には建学の聖句があります。今お読みしたヨハネ福音書 15 章 5 節で、この聖句は本学の創設者ジェニー・ギール宣教師の愛誦聖句でした。

また、本学の校章にイメージされているのは「ぶどう」です。ぶどうの木は、皆さんもご存知のように、まっすぐに天にむかって立つような堂々とした美しい姿ではありません。でもそれは、ぶどうの実を一つも落とすまいと身をかがめている姿なのであり、私たち人間に対するイエス・キリストのお姿を思わせます。

私たち人間の多くは、潜在的に「自分さえよければ」というエゴという、キリスト教で「罪」と呼ぶ本性を持っていることが否めません。建学の聖句で言われているとおり、イエス・キリストにつながっていないと、そのままでは「何も実を結ばない」ことになりかねません。現代社会は、ますます合理化・理性化の道を突き進んでいます。そこには、人間として介入してはいけないことや手を付けてはいけないことも多くある中で、大変危険なことではないでしょうか。皆さんにも、本学で学問の道を大いに進んでいただきたいのですが、本学に在籍されている間、ぜひ全学礼拝に出席し、聖書を紐解いて、イエス・キリストの事績を探ってみて下さい。学ぶことの意味や将来の人類の行く末についても、礼拝の中で、また聖書を読む中で、本学の精神の根底に息づくイエス・キリストの心と思いを体感され、進むべき方向性を見つけることができることと確信します。

新入生の皆さんの大学生活に神様の導きと祝福をお祈りします。